

10/22 森本瑞歩さんが陸上の全国大会に出場



▲賞賜金贈呈式で「上位入賞を目指す」と話してくれました。

教育委員会は、陸上競技種目の800m、1500mで第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」(11月1～3日)に出場した森本瑞歩さん(姫路聴覚特別支援学校中学部2年・田原町)に、今後の活躍を期待して賞賜金を贈呈しました。

森本さんは、兩種目ともに3位入賞を果たし、兵庫県選手団の旗手も務めました。

10/24 加西の食材でブドウジャムパン作り



▲愛の光幼稚園で、パンにブドウジャムを搾る生徒と園児。

食育体験学習の一環として播磨農業高校の3年生19人が、愛の光幼稚園の園児30人とブドウジャムパンを作りました。生徒は地域との繋がりでパンが完成した経緯を写真を用いて説明。その後、園児と一緒に米粉パンに豆乳クリームと同校のゴールデンベリーAで製造したブドウジャムを挟みました。試食した園児は「とってもおいしい」と笑顔でした。

タウントピックス

10/25 約45年ぶりに復活した映画館「住吉座」



▲親子連れで満席になった映画館「住吉座」。

江戸時代に宿場町として栄えた北条町北条地区で10月25・26日の2日間、「第7回北条の宿はくらんかい」が開催され、市内外から約28,000人が訪れました。

通りでは、ギャラリーや手作り作品など約50店が並び多くの人でにぎわいました。また、約45年前になくなった映画館「住吉座」の外観を、屋根付き車庫を利用してテント幕で再現。映画上映しました。

10/31 きれいな地球を子どもたちへ



▲のぼりを立て、剪定作業をする会員ら。

市老人クラブ連合会は、市内135老人クラブ(11,789人)が各町で花壇や神社の手入れなどの社会奉仕活動をする際に掲げる「のぼり」を作成し配布しました。

10月31日には、北条地区の15老人クラブの各会長が、北条町栗田の花壇整備作業に取り組みました。北条地区老人クラブ会長の高橋明さんは「昔も今も変わらない町並みを子どもたちに伝えていきたい」と話しました。

加西市のことなら

ホームページがより見やすくなりました。スマートフォンにも対応

加西市ホームページ

加西市

検索

テレビで緊急情報「まちなび」



サンテレビのデータ放送で緊急情報などを発信

災害に備えて「かさい防災ネット」



災害時に避難勧告などの防災情報をメールで自動配信



11/1 北条幼稚園が創立100周年



▲ハンドベル演奏で100周年を祝う園児。

大正3年に開園した北条幼稚園が100周年を迎え、同園で記念式典が行われました。

式典では植田紘史PTA会長が、「長い歴史を築くことができたのも地域の方々のおかげです。伝統を守り受け継いでいきます」とあいさつ。園児41人が園歌を歌ったり、ハンドベルを演奏したりして祝いました。また、卒園生などから提供の思い出の写真も展示されました。

11/3 播磨横田駅舎兼ギャラリーが完成



▲駅舎内ギャラリーには寄付をいただいた方の絵画を展示。

北条鉄道播磨横田駅の「駅舎兼ギャラリー」が完成しました。駅舎は、1月に神戸市の女性から1500万円の寄付をいただき、建て替えられました。ギャラリーの開館時間は6時30分から19時まで、入場無料です。

完成記念イベントも行われ、駅周辺の方を中心に約1800人が訪れ、ステージやカレー・おでんの飲食ブースを楽しみました。

まちの出来事

11/9 「うんどうかい」で多文化共生



▲準備体操をする7カ国62人の参加者。

中国、ベトナム、ブラジル、韓国をはじめ、加西市には21カ国約750人の外国籍の方が暮らしています。

国際交流を深め、誰もが住みやすい地域を目指した「国際交流うんどうかい」が、北条東小学校体育館で行われ、7カ国62人が参加しました。

国籍混合で、綱引きや大縄跳びなどの競技を行い、子どもから大人まで力が合わせ交流を深めました。

11/10 甘くてホクホク「冬至用かぼちゃ」

加西ブランド協議会が、「売れるものをつくる」を目的に、市内農家等16組とともに冬至用かぼちゃ（品種名：ダークホース）の生産に取り組んでいます。

味は、非常に甘くて、ホクホク感があり、天ぷらやスープなどに適しています。

11月から収穫が始まり、姫路市内のスーパーを中心

に、市内ではかさい愛菜館で12月20日頃まで販売しています。



▲「一度食べると他のかぼちゃは食べられない」と小田富雄さん（繁昌町）。

子育て、定住支援情報なら



子育て・定住支援情報サイト



ふるさと加西は風土記1300年



事業の取り組み等を紹介



かさい観光Navi



遊ぶ・見る・食べるなどの観光情報が満載